

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	西尾 和憲		
居室	西8-801		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishio@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>プログラミングは様々な分野において、研究や開発に必要な技術の一つである。 プログラミングの基礎知識を習得するために、初歩的な書法と技法を学ぶと共に、 UNIXワークステーションを使用した実習・演習により、簡単なプログラムの作成 およびその実行ができることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>コンピュータリテラシー</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>教科書： 特に指定しない 参考書： コンピュータリテラシーの授業で使用したもの</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義および演習との一体進行の授業であり、総合情報処理センターの演習教室で行う。
下記の項目内容にしたがって、C言語による基本的なプログラムを学習・作成し、さらにその実行操作を行い確認・検討する。

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. C言語の基礎 | 2. 演算処理 | 3. 制御処理 |
| 4. 関数 | 5. 配列 | 6. 構造体の変数 |

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

配布する資料および演習課題に対する提出レポートの内容と出席状況に基づき、次のように総合評価する。

$$\text{成績評価} = (\text{課題の提出内容} : 70\%) + (\text{授業の出席状況} : 30\%)$$

(b) 評価基準：

授業に2/3以上出席して、各項目に関する演習課題レポートの60%提出受理をもって合格の最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜に相談に応じる。演習中には積極的に活用するとよい。

【学生へのメッセージ】

各自の技量および進度に合わせて演習課題に取り組み、一歩ずつ確実に基本の技能を習得して実力をつけてください。

【その他】